

2016年度低学年 指導計画

1.基本方針・スローガン

“「みんなが」トライを取るチーム、「みんなで」トライを取るチーム”

優れた選手の能力でトライを取った勝利に満足するのではなく、みんなが協力してトライを取り、守り、勝利を目指すチームを育てたい。いつも同じ選手がトライを取るのではなく、どの選手もトライを取ることで自信を持ち、ラグビーが楽しい、大好きだと感じられるようになって欲しい。ラグビーは各自がベストを尽くしながらチームに貢献する、「みんなでやる」スポーツ。困っている仲間がいれば「みんな」で助ける。できないプレーがあれば「みんな」で教え合う。トライを取ったことを「みんなで」分かち合い共に喜ぶ。そんなチームを目指したい。

2.全体目標

“一人ひとりが判断・勝負し、全員で戦う”

一人ひとりが状況に応じた判断をし、勝負し、攻撃的にプレーする。

勝つために、全員が協力し合う。

常に挑戦する気持ちを忘れず、相手に立ち向かっていくファイティングスピリッツを身に付ける

3.時期的目標・具体的目標

	人間性	基礎体力	ラグビー技術・知識		
			個人技術	チーム力	ルール・基本
具体的に 目指す姿	全員が良いプレーを褒め合う ・認め信頼する ・責任感	全員が20m走タイムを10%短縮 ・勝負する力 ・トライを取る力	全員がタックル・トライをできる ・基本の習得 ・勝負する力	全員が考え声を掛け合い勝つ ・判断力 ・コミュニケーション力	全員が基本を理解し反則ゼロ ・判断力 ・安全性
1-4月 <春都大会> 全員参加・全勝	全員がチームメイトのことを知る	理想の走り方をイメージする	正しい姿勢と動作の理解	練習中に声を掛け合う	最低限のルールと知識を理解
5-8月 <夏合宿> 全員参加・全勝	仲間のプレーを見て認め合う	理想の走り方を実践する	正しい姿勢と動作の実践	声を掛け合いチームで攻め守る	上手なプレーに繋がるルールや知識を理解
9-12月 <秋都大会> 全員参加・全勝	チームメイトのプレーを褒める	試合でスピードアップを実感する	試合で実践し個人の力を出切る	試合中に声を掛け合う	試合で反則ゼロを実現

4.備考（自由記入欄）

【コーチ陣で留意したい点】

- ・子供が楽しく、安全にプレーすることを第一に考える。
- ・指導の基本方針として、“子供自身が考え、気付いて行動する”というサイクルをコーチがサポートする（※コーチが子供に質問を投げかけ、子供が考えて、子供が行動する）。

【課題等】

- ・コーチ全員で、目指すべき姿をしっかりとイメージし、各練習の意図を理解して指導する。
- ・参加しやすい環境づくり（近隣グラウンド確保、保護者への声掛け）
- ・チームビルディング（練習以外に子供同士がふれあえる時間を作る、各種イベント）
- ・安全面の更なる向上（ケガ防止に向けた指導、グラウンド利用前の石拾い等）
- ・あいさつ等の礼節や集団行動の中での規律の大切さを子供たちに理解してもらう
- ・保護者の参加促進、保護者の交流促進
- ・低学年は経験者・未経験者含む全コーチによる集団指導体制を実現する